

# No. 1294

## 華やかにパレード

— 第24回自衛隊観閲式 —

自衛隊の創立を記念する中央観閲式が10月29日、埼玉県陸上自衛隊朝霞訓練場で行われました。会場には約三万人の一般市民、自衛隊関係者、特別招待の各国大使が詰めかけました。特別儀仗隊の榮譽礼を受ける福田首相と金丸防衛庁長官。昨年に続き2度目の観閲官になった福田首相が参加各部隊を巡閲。福田首相は「日本が侵略を受ければ断固としてはねのけなければならない。国の安全を図るカナメは自衛力の増強である」と日頃の「そなえ」の必要性を強調。観閲行進では防衛大学校学生を先頭に普通科部隊、空挺部隊など四千人が華やかにパレード。詰めかけた観客から盛んな拍手を受けました。空からはヘリコプター部隊が観閲飛行。続いて車輛部隊の行進。106ミリ無反動砲、対空誘導弾。ナイキ、ホークなど自衛隊の最新鋭兵器が次々に披露されました。

## 鄧さん、古都の秋楽しむ

東京での公式政治日程を終えた鄧小平副首相一行は、10月26日、ひかり81号で古都へ。世界一のスピードを誇る新幹線にすっかりご満悦。27日、京都地方はあいにくの雨模様となったが一行は午前中、京都御所と二条城を見学、昼は嵐山の料亭でくつろぎ、紅葉と菊に彩られた古都の秋を楽しんだ。行く先々で「熱烈歓迎」を受ける一行、御所の池では卓琳夫人と仲よくコイにエサを与えたり、二条城では約150点の菊の盆栽に思わず「ホーッ」とため息。28日、午前中、奈良東大寺を訪問、大仏殿へ入った一行は高さ約16メートルの大仏を見上げて驚きの表情、大物の鄧さんもさすがに感嘆。同じく午後から唐招提寺を訪れ、御影堂では像の前にぬかずいて焼香しカンランのはちを供えた。案内の森本長老の話に感激した副首相はここで国宝・鑑真和上座像を中国へ「里帰り」することを約束した。8日間の日本滞在で天皇陛下との会見、福田首相との会談などの重要日程をこなし、この他、各地で日本の各界の多数の人たちと接触した鄧副首相一行は29日、午後、日本での全日程を終え、大阪国際空港から帰国した。日本の外交には、まだ数々の難問が山積しているが、ともかく日中両国が対等の立場で将来にわたる友好の基礎を築いたことは、鄧副首相来日の大きな成果である。